

各医療機関長 殿

蔵王町長 村上英人
(公印省略)

風しん(麻しん・風しん混合)予防接種の実施について(依頼)

梅雨の候、貴殿におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃、本町の予防接種事業の推進につきましては、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。また、このたびは風しん任意予防接種の実施について、お引き受けいただき重ねてお礼申し上げます。

つきましては、別紙のとおり実施要領・予診票等を送付いたしますので、ご協力いただきますようご依頼申し上げます。

記

- 1 対象者 接種日に蔵王町に住所を有する方で、下記に該当する方
- ① 妊娠を予定または希望している19歳から49歳までの女性
(既婚、未婚は問いません。)
 - ② ①の配偶者
 - ③ 妊娠している女性の配偶者
- ※ 以上については、健康保険証の提示にてご確認ください。

2 接種費用額及び自己負担額

	接種費用(契約金額)	町助成額	自己負担額
風しんワクチン	6,000円	6,000円	なし
麻しん風しんワクチン	10,000円	10,000円	なし

- ・委託料の請求については、他の予防接種と別様式にて予診票の写しを添えて、翌月10日まで請求してください。
- ・予診票は貴院で使用している任意様式でかまいませんが、町で作成した予診票と請求書を送付いたしますので、ご活用ください。

3 契約期間 平成25年7月1日～平成26年3月31日

4 その他 助成は一人につき1回とします。なお、平成25年4月1日以降、既に接種した方から問合せがあった場合は、領収書、接種を証明できる書類等を持参のうえ、保健福祉課へ申請すると全額償還払いとなる旨、ご説明願います。

【担当】蔵王町保健福祉課 保健予防係 向山わかな

Tel 0224-33-2003

風しん予防接種費用助成事業実施要領

1 目的

妊娠初期の女性が風しんウイルスに感染すると、胎児に感染して「先天性風疹症候群」が高い確率で発生する。風しんの予防には予防接種が効果的とされている。妊娠している女性の風しんウイルス感染を防ぎ、先天性風疹症候群の発生を予防するため、緊急対策として風しん予防接種費用助成を実施する。

2 実施主体 蔵王町

3 助成対象及び助成内容

助成対象者	助成回数	助成額	助成対象ワクチン
① 妊娠を予定または希望している 19歳以上49歳以下の女性	1回	全額	風しんワクチン 麻しん風しんワクチン
② ①の配偶者	1回	全額	
③ 妊娠している女性の配偶者	1回	全額	

※接種日に蔵王町に住所を有し、上記の助成対象者に該当する者

4 実施期間 平成25年4月1日から平成26年3月31日

5 接種料金 医療機関が設定する接種料金とし、町が全額助成するものとする。 (委託医療機関(白石市医師会の実施医療機関)の接種料金は、風しん6,000円、 麻しん風しん混合10,000円となります。)

6 接種方法

- ① 接種希望者は、医療機関に直接予約をし、健康保険証を持参し接種する。
- ② 接種医は、接種希望者が風しんに罹患したことがない、または風しんの予防接種を受けたことがないことを確認する。(風しんの予防接種を受けたことがある者で風しん抗体価が低下していて、罹患の可能性がある者も助成対象とします。)
- ③ 予診の際は、予防接種の効果、予防接種後の通常起こり得る副反応及びまれに生ずる重い副反応並びに健康被害救済について、接種希望者がその内容を理解し得るよう適切な説明を行い、接種する。また、接種希望者が女性の場合、妊娠の有無についても確認する。

7 被接種者報告及び委託料の支払い

委託医療機関は、請求書（様式1）に予診表（原則、原本）を添えて蔵王町に請求するものとする。

8 償還払いの方法

委託医療機関以外で接種した場合及び全額自己負担で接種した場合は、接種後、保健福祉課において、「蔵王町風しん予防接種費用助成金交付申請書（様式第1号）」に次の書類類を添えて償還払いの申請を行うことができる。

（申請時に必要なもの）

- ・接種したことが分かる領収書（原本）
- ・接種済証などのワクチン接種が確認できるもの
- ・印鑑
- ・申請者の振込先預金通帳（口座確認用）

9 周知方法

妊娠届、婚姻届の提出者へはチラシを手渡し周知する。
広報掲載及びホームページに掲載する。

10 その他

この要領は、平成25年4月1日から効力するものとする。

風しん・麻疹風しん予防接種予診票(任意接種用)

予防接種の種類	風しん・麻疹風しん混合		診察前の体温		度	分
住所			電話番号	()		
受ける人の氏名	男・女		生年月日	平成	年	月 日
保護者の氏名				(満	歳	ヵ月)

質問事項(必要などころに○をつけ、内容を記入してください。)

質問事項	回答欄		医師記入欄
1. 接種を受ける方が女性の場合 1) 今妊娠している、あるいは妊娠している可能性はありますか 2) 接種後、2カ月間は避妊が必要なことを理解していますか	はい	いいえ	
2. 風しんの予防接種について説明文を読みましたか	いいえ	はい	
3. 風しんワクチンの効果や副反応について理解しましたか	いいえ	はい	
4. 最近4週間以内に何か予防接種を受けましたか(受けた場合のワクチン名:	うけた	うけていない	
5. 最近6カ月以内に輸血あるいはガンマグロブリンの注射を受けましたか (いつ:) (理由:)	うけた	うけていない	
6. 今までに予防接種、薬、食品でアナフィラキシーという重いアレルギー反応をおこしたことがありますか (原因:)	ある	ない	
7. 今までに予防接種、薬、食品で発疹、じんましんが出たり、体の具合が悪くなったことがありますか (原因:)	ある	ない	
8. 今日ふだんと違って具合の悪いところがありますか。 具体的な症状を書いてください()	ある	ない	
9. 今、何か病気にかかっていますか (病名:)	はい	ない	
10. 今、何か治療(投薬)をうけていますか (治療内容、薬名:)	はい	いいえ	
11. 最近1ヶ月以内に病気にかかったことがありましたか。 (病名)	ある	ない	
12. 今までに特別な病気(先天性異常、心臓、腎臓、肝臓、血液、脳神経、免疫不全症、悪性腫瘍、その他の病気)として、医師の診断を受けたことがありますか (いつ:) (理由:)	ある	ない	
13. 9, 10, 11, 12の場合、かかりつけ医に今日の予防接種を受けても良いといわれましたか。	いいえ	はい	
14. 最近1カ月以内に家族あるいは周りに麻疹、風しん、水ぼうそう、おたふくかぜなどに、かかった人がいますか(誰:) (病名:)	いる	いない	
15. ひきつけ(けいれん)をおこしたことがありますか (年齢 歳) (回数 回)	ある	ない	
ひきつけ(けいれん)をおこした時、熱はありましたか (出た時の体温 ℃)	でた	でなかった	
16. 近親者に予防接種で具合が悪くなった人はいますか (誰:) (ワクチン名:)	いる	いいえ	
17. 家族の中に先天性免疫不全と診断されている人はいますか (誰:)	いる	いいえ	
18. 今日の予防接種について、何か質問がありますか (内容:)	ある	ない	

医師記入欄

以上の問診及び診察の結果、今日の予防接種は(実施できる・見合せた方がよい)と判断します。※いずれかに○をつけてください。
本人及び保護者に対して、予防接種の効果、副反応及び医薬品医療機器総合機構法に基づく救済について説明をしました。

医師の署名又は記名押印 []

医師の診察・説明を受け、予防接種の効果・副反応などについて理解した上で、接種することに(同意します・同意しません)

※ かつこの中のどちらかを○で囲んでください。

本人(未成年の場合は保護者)自署 []

使用ワクチン名	接種量	実施場所・医師名・接種年月日
ワクチン名 Lot No. (注)有効期限がきれていないか確認	ml	実施場所 医師名 接種年月日

風しんワクチンの接種を希望される方へ

～ 定期接種対象年齢(生後12～90か月未満)以上の方(任意接種)用～
蔵王町役場保健福祉課



(出典：国立感染症研究所感染症情報センターより 一部修正)

【風しんについて】

1. 風しんとは

風しんは患者さんの飛沫(ひまつ)を介して感染するウイルス感染症で、発疹(ほっしん)、発熱、リンパ節のはれを特徴とします。潜伏期(感染してから発病するまでの日数)は2～3週間です。

目が赤くなるといった症状がみられることもあります。

通常、子供では3日程度で治る病気ですが、稀(まれ)に、血小板減少性紫斑病(3,000人に1人)、脳炎(6,000人に1人)といった重い合併症(がっぺいしょう)がみられることがあります。

2. 大人が風しんにかかった場合の特徴

関節痛がひどいことも特徴と言われています。1週間以上仕事を休まなければならない場合もあります。

3. 妊娠初期に風疹にかかった場合の症状

妊娠初期の女性が風しんにかかると、お腹の赤ちゃんに風しんウイルスが感染して、先天性風しん症候群の赤ちゃんが生まれる場合があります。感染経路はお子様やご主人、一緒に生活しているご家族からうつることが多いため、ご家族が風しんにかからないよう、ワクチンを受けておくことも大切です。先天性風しん症候群という病気は、生まれつきの心臓病 白内障・難聴といった心臓・目・耳などに色々な組み合わせで、障害をもつことがある病気です。

4. 日本における風しんの流行状況

現在、首都圏を中心に風しんの流行が続いており、平成25年3月末時点で、既に昨年の患者数を上回っています。これまでの調査から、風しんの流行は初春から初夏にかけて多く、数年くらい続くことが特徴といわれています。昨年からの流行の影響で、平成24年10月から平成25年5月末までに、10人の先天性風しん症候群の患者が報告されています。

これらのことから、定期接種の期間を過ぎてしまった方においても、風疹にかかったことがない、風疹ワクチンをうけたことがない方は、妊婦さんを守る、重い合併症を防ぐといった意味で、男性も女性も風疹ワクチンを受けておくことが強く勧められています。

【風しん予防接種について】

1. 接種を受けることができない人

(1) 妊娠をしている女性および妊娠している可能性がある女性はワクチンを受けることができません。

ワクチン接種後は少なくとも2か月間の避妊が必要です。万が一、ワクチンを接種した後に妊娠がわかった場合は、かかりつけの産婦人科の先生にご相談ください。なお、これまで世界的に見ても、ワクチンによる先天性風しん症候群の患者さんの報告はありませんが、その可能性が否定されているわけではないので、接種前の注意が必要です。

(2) ワクチンを受ける3か月以内にガンマグロブリン(血液製剤の一種で、重症の感染症の治療などに使われます)の注射

あるいは輸血を受けたことがある人は、免疫が十分にできませんので、接種を受けることを延期する必要があります。また、大量のガンマグロブリンの注射を受けたことがある人は、6か月程度延期する必要があります。

(3) 生ワクチン(麻疹、風疹、BCG、ポリオ、水ぼうそう、おたふくかぜ、黄熱ワクチンなど)の後は27日以上、不活化ワクチン

(インフルエンザ、三種混合(百日咳・ジフテリア・破傷風)、二種混合(ジフテリア・破傷風)、日本脳炎、A型肝炎、B型肝炎、狂犬病、肺炎球菌ワクチンなど)の後は6日以上接種間隔をあける必要があります。

(4) 接種直前の体温が37.5℃以上であった人。

- (5) 重い急性の病気にかかっている人。
- (6) 風しんワクチンに含まれる成分(接種医におたずねください)でアナフィラキシーという重いアレルギー反応を起こしたことがある人。
- (7) 接種医が接種しない方が良いと判断した場合には、接種を受けることができません。

2. 接種を受けるときに注意が必要な人(接種にあたっては、かかりつけの先生と相談する必要があります。)

- (1) 先天性異常・心臓・腎臓・肝臓・血液・脳神経・発育発達の病気・悪性腫瘍など何らかの病気がある人。
- (2) これまでの予防接種で2日以内に発熱がみられた人、またはアレルギーを疑う症状(全身の発疹やじんましんなど)がみられた人。
- (3) これまでにけいれんを起こしたことがある人。
- (4) これまでに免疫機能に異常(感染症によくかかったり、感染症が重くなったりすることがあります。)があると言われたことがある人。
- (5) 風しんワクチンに含まれる成分(接種医におたずねください。)でアレルギーを起こすおそれのある人。
- (6) 薬や食べ物でアレルギーを疑う症状(全身の発疹やじんましんなど)がみられた人。
- (7) 接種当日の体調が普段と違う人。
- (8) 家族や周りで最近1か月以内に麻疹・風疹・水ぼうそう・おたふくかぜにかかったことがある人がいる場合。
- (9) 最近1か月以内に何か病気にかかったことがある人。

3. 風しんワクチンの効果

風しんワクチンを接種することによって95%以上の方が免疫を獲得しますので、ワクチンを接種してからであれば、風しんの患者さんと接触してもほとんどの場合発症を予防することができます。しかし、いつまで免疫が持続するかについては、獲得した免疫の状況や、その後の周りでの流行の程度によって異なります。

4. 風しんワクチンの副反応

接種後の副反応は非常に少ないワクチンといってよいでしょう。風しんワクチンに限ったことではなくワクチン全般で言われることですが、稀に接種後30分以内にアナフィラキシーという重いアレルギー反応を認める方がいますので、接種を受けた後は少なくとも30分間、接種を受けた医療機関などで様子を観察しましょう。

子供を対象にしたこれまでの調査では、接種後5～14日に発熱(37.5℃以上 38.4℃未満が1.9%、38.5℃以上が2.6%)、発疹(1.3%)、リンパ節のはれ(0.6%)が報告されています。しかし、通常数日の経過で自然によくなります。成人女性にワクチンを接種した場合、子供にくらべると、関節痛の頻度が高いと言われていますが、この場合も数日から1週間程度で自然に治ります。

風しんにかかった場合には3,000人に1人の割合で見られる血小板減少性紫斑病ですが、ワクチン接種後にも稀(100万人に1人程度)ではありますが、認められる場合があります。

接種後2～3週間は副反応の出現に注意をしましょう。

5. その他注意すること

ワクチンを接種した人の咽頭(のど)から接種1～2週間後にワクチンウイルスがでてくるがありますが、周りの人にうつることはありませんので、妊婦さんの家族の方が接種を受けられても心配はありません。むしろ、妊婦さんの家族で風しんの免疫(めんえき)をもっていない方は、昨年からの流行を考えると、早めに受けておかれた方が良いでしょう。

予診票はこれまでの様子を知るための重要な情報ですので、正しく記入しましょう。

接種した当日は入浴は可能ですが、接種部位を清潔に保ち、はげしい運動をひかえ、体調をよく観察しましょう。もし、何か気になる症状がみられた場合は、接種医に相談しましょう。

